



学校だより

学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身共に進んで鍛え、健康な人になろう

第1号

令和8年4月22日
杉並区立阿佐ヶ谷中学校
校長 齋藤 健一

「令和8年度 目指す学校像・目指す生徒像・目指す教職員像」

杉並区立阿佐ヶ谷中学校は地域運営学校として新たなスタートを切り8年目を迎えました。開校以来80年近くにわたる歴史と伝統に支えられ、保護者・地域から信頼されている本校の教育のさらなる質的向上を図って参ります。学校は、教職員の連携・協力と保護者からの理解・協力、そして地域の支援によって教育を行うことが大切であり、常に子どもたちを学校の中心に考え、その能力を最大限に引き出すとき、学校としての役割を果たすことができると考えます。また、「よい学校」とは、「信頼される学校」であり、家庭の学校に対する信頼の基盤は、我が子が毎日の登校を喜び、教職員や友と共に学び、学習や学校生活に満足感を見いだすことです。教職員が一丸となり、上記の教育目標の具現化を目指します。

1 目指す学校像

- (1) 確かな学力を身に付け、生涯にわたり学び続ける態度を育てる学校
- (2) 夢や希望を育み、自己実現を支える学校
- (3) 良き社会人としての規範意識の取得と社会貢献の姿勢を学べる学校
- (4) 個を尊重し、心豊かな人間関係の中で学べる学校
- (5) 保護者が、子どもを通わせたいと思う信頼できる学校
- (6) 地域運営学校として、保護者・地域と「共創」する学校
- (7) 安全で安心な、いじめを許さない学校
- (8) みんなのしあわせを創る阿佐ヶ谷中学校

2 目指す生徒像

『人にやさしく自分にきびしい生徒』『時を守り、場を清め、礼を正す生徒』

- (1) 自ら考え、創造し、生涯にわたり学び続けていく生徒
- (2) 人と社会とともに生きていく生徒
 - ① 挨拶・言葉が美しく礼節をわきまえた生徒
 - ② 社会性を備え規範意識をもつ生徒
 - ③ 社会に感謝と貢献する生徒
- (3) 自己実現に向け諦めず努力し続ける生徒
- (4) 心身ともにたくましく、鍛え、自他ともに思いやる生徒
- (5) 当たり前のことが、当たり前でできる生徒
- (6) ちがいを認め合い、自分らしく生きる生徒

3 目指す教職員像

- (1) 教育公務員として法令を遵守し、その使命と品格を大切にする教職員
- (2) 人権感覚に基づき、生徒に向き合い丁寧にそして積極的に関わる教職員
- (3) 教える「プロ」として生徒の視点に立ち、最善の教育をする教職員
- (4) 保護者・地域と連携を深め、自校に愛情と誇りがもてる教職員
- (5) 専門職としての力量をつけるため、絶えず研究と修養に励む教職員（ICTの活用）
- (6) 健康の維持増進を図り、ゆとりある心で生徒に接する教職員
- (7) 組織人としての自覚をもち、生徒のためのより良い学校づくりに努力を惜しまない教職員

教育活動報告

入学式 4月7日(火)

校庭の桜の花が舞う中、晴れやかな表情をした新入生と保護者の方が1階の受付を通過して行きました。本年度は新たに93名の1年生が入学し、全校生徒が278名になりました。式では新入生代表の力強い誓いの言葉があり、その新入生を優しく受け入れようとする在校生代表の歓迎の言葉がありました。式の終わりには、2.3年生全員による合唱が、その場にいる全ての人たちを包みました。

生徒会・部活動オリエンテーション 4月9日(木)

2,3年生の生徒会本部役員、各委員会委員長、各部活動の部長が中心となって、1年生のために、委員会の仕事や役割の説明と、各部活の活動内容などを紹介しました。部活動紹介では、説明のほかに実演をする部もあり、1年生は真剣に見入っていました。



生徒会朝礼 4月20日(月)

生徒会朝礼は、生徒たち自身で運営して行われます。司会進行は生徒会本部役員。今回は本年度前期の各委員長が皆の前に出て、委員会に取り組む意気込みを一人ずつ発表しました。



5月の主な予定

5/1(金)G組春の校外学習 5/8(金)～15(金)評価・評定説明会(配信) 5/15(金)生徒総会
5/18(月)教育実習始 5/26(火)いじめ防止授業 5/27(水)体育大会予行 5/30(土)体育大会

【お知らせ】

・次号(第2号)から、学校だよりは「tetoru(保護者向け連絡ツール)」で配信いたします。

・「tetoru」の登録がお済みでない方は、ご登録いただきますようお願いいたします。

なお、「tetoru」は年度更新をしています。昨年度登録していた方も、本年度新たに配布した登録用紙でご登録くださいますようお願いいたします。